

トークフォークダンスって何？

○フォークトークダンスの様子がわかる新聞記事です。

○下の二次元コードからは、IBCで放送された実際のトークフォークダンスの様子が動画で見ることができます。

スマホで、読み取って、動画を見てみると、一目で様子がわかります。

ぜひ、杜陵小学校の子どもたちと「トークフォークダンス」を、楽しみましょう！！



輪になって1分ごとにペアを変えて地域の大人と対話する生徒たち

輪になり語り胸躍る

同校で6日、総合的な学習の時間に行い、体育館で3年生約120人と同数の大人が参加。内側に先生や保護者、地域で働く若男女、外側には生徒が輪を作るように並んだ。1分ごとに隣に移るルールでフォークダンスのように相手を交え、一対一で話し合った。

盛岡市西見前の見前南中（斎藤秀一校長、生徒383人）は、輪になって地域の大人と語り合う「トークフォークダンス」に取り組んだ。生徒は大人と会話しながら、多様な価値観を学び、進路選択への心構えや地域愛を育んだ。

盛岡・見前南中でトークフォークダンス

地域の大人と一対一 進路選択へ心構え育む

「苦手なこと」について質問した西川さんは「苦手を克服しなさい」という大人にもなりたい。誰かに助けてもらいたい、今度は自分の得意な部分で誰かを助けてほしい」と組織や社会の在り方を説いた。

八屋陽菜さんは「最初は気まずいと思っていただけで、時間が足りないくらい盛り上がりがあった。こんなに面白い大人たちがいる地をますます好きになった」と振り返った。

子ども2人が同校に通い、PTA役員を務めた同市西見前の内館恵さん（76）は「思い出が多い学校、今の雰囲気味わえて良かった」と目を細めた。

トークフォークダンスは京都市内の学校が発祥。同校では盛岡市の市民団体「つばのつば」代表、同校PTA副会長の日脇隆弘さん（48）、妻香里さん（48）が提案し初開催した。日脇さん夫妻は「みんなを応援したい大人がこんなにいるのを知って、もったいなかった」と思いを込めた。（今西真琴）

大人とお話花咲かせる 沼宮内小でトークフォークダンス



多様なテーマで大人と語り合う子どもたち

岩手町の沼宮内小（山本一行校長、児童277人）で5日、多様なテーマで語り合うトークフォークダンスが初めて行われた。5年生46人は地元

の大人との会話を夢中で楽しんだ。児童は警察官や銀行員、町職員、地域おこし協力隊らと対面して輪になり、フォークダンスのように1分ごとにペアを交代。「好きな教科は」「旅行に行くならどこ」

など身近なテーマで互いの考えを共有した。

千葉優奈さんは「初対面の人でも知り合いの人でも、知らないことをいろいろ聞いた。緊張せずに自分のことも話せて良かった」とうなずいた。

町主催の事業で2020年度に始まり、今回で12回目。小中高生と地域の大人たちが顔を合わせ、語り合える文化を育てている。

